

人間文化プログラム

平成26年度卒業生

論文名
巡礼の現代化
「内なる優生思想」とどのように向き合うか—「自己決定権」をめぐって—
平成の映画から見る、昭和ノスタルジア
〈幻想的なるもの〉の精神史——造形と文学の交叉——
オーストラリア原住民アボリジニ —“ドリーミング”のかたち
野田秀樹『オイル』から見るヒロシマ-演劇による〈戦争〉表象の可能性-
映画における小道具の役割
メタシアターの定義“シェイクスピア『ハムレット』、如月小春『ロミオとフリージアのある食卓』比較より”
安部公房論——その生涯を一貫した内的連関性において捉える試み——
中学校武道必修化の意義とその背景に関する考察